

# 文芸研究会

# 文化会通信

Q「普段の活動はどのようなことをされていますか？」

林「普段の活動は、芸術祭と御厨祭で展示する冊子と、OB向けに部内誌を書いています。OB向けの方は10年以上文芸部が続いているので、OBに今の現役はこういうのを書いているんですよっていうのも含めて部内誌を発行して、各OBに送っています。一年の初めにOB会という集まりがあるんですが、その時に感想を少し聞いています。部内誌の発行の期間が、一回生が入ってすぐなので、新入生の腕試し、自分がどこまで書けるのか確認するうえで、次の御厨祭に向けてっていうのが目的ですね。文芸部の活動は、作品をどれだけできるかだと思うし、3冊のうち2冊は手製本してるので結構忙しいですね」

Q「合宿とか行ったりはしますか？」

林「一番大きいのは有志でゴールデンウィークにOBに車出してもらって取材かねての旅行ですね」

Q「その取材っていうのはどういった内容ですか？」

林「取材というよりは、作品を書く上で風景を描写するのはまた別の技量があるんで書いて覚えていくしかないんですが、感受性ということで、技術ではなく実際体験してもらおうのが目的です。行く範囲は限られているんですが、経験を少しでも増やしてもらいたいなと思っています」

Q「作品を書く上で、気を付けていることは何かありますか？」

林「文芸部は基本的に続編ものは書かないというルールがあるんですよ。理由ですが、芸術祭に来る人がいつも同じではないので、初めて来ていただいた人でも読めるようにしたいんですよ。なので前回書いた作品とは異なったものを書いています。なのでいろんな作品を読めるので気軽に来てほしいですね」

文芸研究会は学内のクラブ展示だけでなく、地域のイベントでも積極的に、作品を展示しています。そんな文芸研究会の部長の林さん（以下：林）にインタビューを行いました。



平成 28 年  
第 2 号  
発行：文化会本部

# 投資研究会

Q「ではまず、投資研究会は主にどんな活動をされているんですか？」

森「普段はいろいろな企業の実態を調べたり、読書会を行ったりしています。読書会では、投資や企業に関する著作を読み、それをパワーポイントで発表しています。最近ではライフネット生命の社長の講演会にみんなで開催しました。また、月1会の投資、企業研究を各自で研究発表したりしています。ここには顧問の山根先生に参加していただき、本格的な発表会を行っています」

Q「投資の活動以外では何をされていますか？」

森「投資以外では、部室にみんなで集まって鍋パをしたり、タコパをしたりしていますよ。やっぱり部室っていう居場所があるから、みんなでそこに集まって何かしていくから仲良くなりやすいですね」

Q「そんな投資研究会のアピールポイントはあるですか？」

森「投資はそもそも企業のことを知らないと投資できないので、多くの企業のことを知れます。やっぱり企業の実態がどうなっているのか調べたりしていると、企業に興味が出てきます。すると自分が入りたい企業や業種が見つかり、就活にも活かされると思います。投資の勉強も見えてくるし、自分の将来の道筋が見えてくるのがメリットだと思いますね」

Q「では最後に、投資研究会として今後どんなことをやっていきたいですか？」

森「さっき話した講演会に参加するだけでなく、講演会を開く側になってみたいですね。そこで一般の方も参加できる環境を提供していきたいですね。他には今やっている企業研究だけにとどまらず、これは理想なんですけど実際に投資の売り買いを行って、研究テーマとしてやっていきたいですね。個人的には2年連続で部長に任命されたので頑張りたいですね」

投資研究会と聞いてどんな活動をしているか思い浮かぶ人って少ないんじゃないでしょうか？そこで今回は部長の森山さん（以下：森）に投資研究会についてインタビューしてみました。



# 会計学研究会

Q「クラブのアピールポイントは何ですか？」

衣「とりあえず簿記検定が受かりやすいというのがひとつですね。週2回2時間の勉強会が僕の中ではかかいます。出来る人が苦手な人に教えてあげてサポートをしてくれます。商業といえば、簿記というのがあって思うので、そういうので来てくれる人に勉強会とかで、僕たちがサポートして受かりやすくするみたいなのが会計の一番のアピールポイントですね」

Q「次ですが、クラブでのメリットですね。アピールポイントとかぶる所もあると思いますが、何かありますか？」

衣「簿記検定の合格率が高いところですね。大体ですが前回の2級の合格率が東大阪だけで4.7%ぐらいだったんですよ。会計の中で10%ちょっと取れていました」

Q「2級難しかったんじゃないですか？」

衣「そうですね。合格率が低かったのが難しかったですね。ただ毎週の勉強をやっていたら生活習慣っていうんですかね、習慣づいているんで忘れないと思いますよ。なので週2回勉強するのは大きいと思いますよ。全国の合格よりも僕らの合格人数が下回ることはまずないですね」

Q「最後になるんですけど、今年一年の目標を、部活としてでもいいですし、部長としてでもいいんで教えてください」

衣「とりあえず僕が部長として思うのは、検定も取って大学生活が雑になるんじゃないくて大学の単位が取れて、検定も取ってといった文武両道出来るようなクラブを作っていきたいと僕は思っていますね。それがやっぱり一年間先輩方のやってこられた分もありますし僕が部長として引き継いでいきたいですね。部活としてだったら明るい元気な部活がいいですね」

会計学研究会は、簿記の資格取得に向けて勉強会を開催しており、結果も残しています。そんな会計研究会の衣本さん(以下:衣)にインタビューを行いました。



# 軽音楽部

Q「軽音楽部のアピールポイントを教えてください」

中「いろいろな音楽ジャンルに挑戦しているので、自分の好きな音楽に挑戦できることですね。部員は40人ほどいるんですが、その中で4~5人でグループを作り、そのグループでポップであったり、ヘビメタであったり多種多様な音楽ジャンルに挑戦しています。あとは、LIVE後に部員だけで飲み会を開催していたりと、ほんとに仲がいいです。なので、趣味の合った友達や先輩がすぐにできると思います。交流会や演奏会で大谷大学や、樟蔭女子大学などいろいろな大学に行くので、他大学の軽音楽部の人たちと仲良くなれる機会が結構あります」

Q「普段の活動はどのようなことをされているんですか？」

中「学内での練習や梅田にあるライブハウスなどでLIVEや、他大学のLIVEの見学に行ったり、研究などを主にやっています」

Q「今年の目標は何ですか？」

中「今までと同じく上手に演奏ができる様に練習を怠らないことと、飲み会といった交流を増やしていきたいと思っています。軽音楽部は、夏の定期演奏会で梅田のZeelaや難波のアメリカ村にあるDROPという名前のライブハウスで演奏会を開催しています。また、大学祭での学内ライブや、定期演奏会なども開催しています。気になる方がいましたら、足を運んでみてはいかがでしょうか？」

軽音楽部は、他大学との活動も多く、大学祭では学内でライブを行っています。そんな軽音楽部の中川さん(以下:中)にインタビューを行いました。



# 古都研究会

Q「まず始めに古都研究会は何をやっているクラブなのでしょうか？また今年1年どのように活動を頑張っていきたいですか？」

丸「名前の通り古都を学ぶクラブなんですが、基本的には神社とかを巡ってそれについて調べたことを御厨祭のクラブ展示で発表することを一番大きな活動としてます。僕は去年の秋ごろに入部したのでクラブ展示はほとんど先輩がやって、僕はちょくちょく京都とかに行き行ってそれを先輩に報告するぐらいでした。なので、今年1年は基本的に通常授業がある日は、近辺の歴史的に有名な場所や、昔ながらの建物を巡ることを1つの活動にしていきたいです。夏休みとかは合宿という形ですぐに行けない場所へ遠出できたらなあと考えてます。具体的な場所は決まってませんが、関東方面に行きたいと思っています」

Q「京都などの古都を巡るときに必ずやることってありますか？」

丸「京都などに行ったときは写真を撮ってそれをLINEで送って報告し合ってます。古都へ行くのは基本的に個人でもいいのですが、他の部員と一緒にいくのもいいと思います。僕は他の部員と一緒に行ってますね。そのほうが楽しいと思います」

Q「最後に新入生に向けて古都研究会のアピールとメッセージをお願いします」

丸「みんな仲良しなのですぐにグループの中に溶け込めるとは思いますし、まだ僕は他大学と交流してないんですが、先輩から交流できると聞いてるので、いろんな人とつながりが持てるんじゃないかと思っています。古都が好きな人はもちろん、そうじゃない人も気楽にすぐ仲良くなれるクラブなんで興味があればぜひ部室に来てください。男女問わず募集しています。女の子大歓迎です(笑)」

古都研究会は、神社などの歴史的な古都を巡るクラブです。2回生の丸田さん(以下:丸)にインタビューをさせていただきました。

